



2010年のあだちへ

あだちの夢と未来が みえてきた

足立区基本構想審議会
中間のまとめ



ときめき
ゆとり
水辺のまち

足立

足立区では、昭和59年12月に現在の基本構想を策定しました。しかし、策定後すでに12年余が経過し、その間、急激な高齢化をはじめ高度情報化、国際化といった社会情勢の変化がありました。これまでの区政を振り返ってみると、人口の急増による行政需要に応え、都市基盤整備に取り組んできた時代から、高齢社会や国際化の進展がもたらす新しい行政課題に取り組むべき時代へと移る転換期にあるといえます。そこで、こうした状況をふまえて、基本構想の見直しを行うことになりました。

展望2010年

基本構想の検討にあたっては、2010年を目標年次としました。2010年は、日本の人口がピークを迎える時期にあたります。それと同時に、本格的な高齢社会が到来します。また、これからは経済的な豊かさとともに、住まいや生活にゆとりを持つる真の豊かさを実現すべき時期でもあります。一方、東京ではいま業務機能が集積し、都心区では深刻な人口減

少がおこっています。今後は、産業活動と「住む」ことのバランスを取りながら、魅力と活力のあるまちづくりを進める必要があります。足立区においては、常磐新線、日暮里・舎人線の建設をはじめ、大きなプロジェクトがまちづくりに影響を与える重要な時期にあると見ています。そこで、21世紀に向けてゆとりと活力あふれる足立区を築くため、次の3つの将来課題に取り組んでいく必要があります。

○都市化の進展に対し、住み慣れた地域で、誇りをもって住みつづけられるまちづくりを進める。
○高齢社会の到来に対応し、人生80年を美事に過ごすことができるしくみづくりを進める。
○社会の成熟化が進展するなかで、まちに活力を持続させる。

審議会では、目標年次に向けて、区と区民が共感し、ともにその実現をめざす将来像を「ときめき ゆとり 水辺のまち 足立」としました。

将来像は、①足立区の地域特性である川や水路を生かした心やすらぎの水辺を、まちづくりの全体イメージとし、②区民一人ひとりが健康で安心して生活を送ることができ、③それぞれが生きがいをもつ多様な活動を通して、豊かな市民文化を創造していきけるようなまちを描いています。

2010年までの20年は、これまでの生活基盤整備の成果を踏まえ、その充実を図るとともに、こうした新しい課題に正面から取り組んでいかなければならない時期であるといえます。

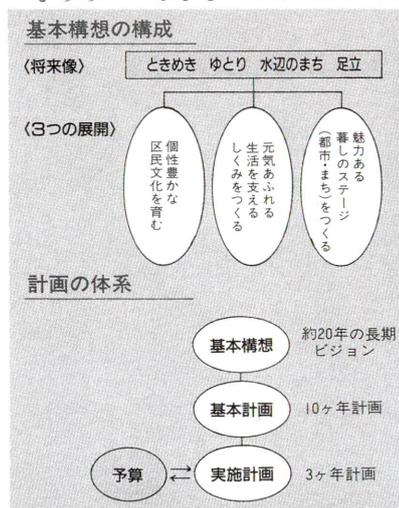
足立区基本構想審議会は、足立区の将来ビジョンを策定するため、区民・関係団体の代表者、学識者三十五名を構成された区長の諮問機関です。来年二月の答申に向けて、現在審議を進めています。

区には、基本計画や実施計画などさまざまな計画があります。基本構想は、区が総合的かつ計画的な行政運営を図るため、こうした計画のおおもととなるものとして定めるものです。区の将来像、その実現のための施策など、区議会の議決を経て定められます。

足立区基本構想審議会は、足立区の将来ビジョンを策定するため、区民・関係団体の代表者、学識者三十五名を構成された区長の諮問機関です。来年二月の答申に向けて、現在審議を進めています。

区には、基本計画や実施計画などさまざまな計画があります。基本構想は、区が総合的かつ計画的な行政運営を図るため、こうした計画のおおもととなるものとして定めるものです。区の将来像、その実現のための施策など、区議会の議決を経て定められます。

区には、基本計画や実施計画などさまざまな計画があります。基本構想は、区が総合的かつ計画的な行政運営を図るため、こうした計画のおおもととなるものとして定めるものです。区の将来像、その実現のための施策など、区議会の議決を経て定められます。



基本構想とは

区には、基本計画や実施計画などさまざまな計画があります。基本構想は、区が総合的かつ計画的な行政運営を図るため、こうした計画のおおもととなるものとして定めるものです。区の将来像、その実現のための施策など、区議会の議決を経て定められます。

基本理念(要旨)

新しい時代へ向けた区政運営の指針として、足立区は自由と平和を愛し、基本的人権の尊重と民主主義を自治の基本としたうえで、次の3つを基本構想の理念とします。

- 人間性を尊重する。
- 地域からの発想を生かす。
- ともに支える社会を育む。

会長あいさつ
足立区基本構想審議会 会長 加藤芳太郎

本審議会では、足立区のこれまでの歩みを進め、急激な高齢化の進展など、現在が転換期を迎えているとの認識に立ち、21世紀初頭(2010年)を目標年次とする新基本構想の策定が必要であると判断しました。そこで、まちづくりと産業、健康と福祉、生涯学習とコミュニティ、行政の四つの専門部会を設け、区政の主要な課題の検討を行うとともに、区の基本理念、将来像などのあるべき姿などについて、延べ18回にわたり審議いたしました。

ここで、これまで審議してまいりました内容を区民の皆さんにお知らせするとともに、広くそのご意見を伺い、最終答申を充実させてまいりたいと考え、ひとまず、中間のまとめを行うこととしました。今後は、地域説明会などを行ってまいります。住みよい足立区を築くため、区民の皆さんの率直なご意見を期待しております。

土地利用構想

この土地利用構想は、区の整備、開発や保全の方針、都市再開発方針等の役割を担うものです。そこで、この構想では、都市機能の向上に必要な鉄道、道路、複合的な都市機能集積地、文化・レクリエーションの拠点などを整備する方針と、これに対応した土地利用の方針及びこれを実現するための方策を示しました。区では、これに基づいて調和のとれた都市の形成を図っていくこととなります。

都市構造の方針

- 「常磐新線」、「日暮里・舎人線」等を含めた鉄道網の整備を図り、広域との交通軸を形成します。
- 都市計画道路を整備推進し、区内の道路の骨格を形成します。
- 区の特長である河川・水路を保全、整備活用するとともにレクリエーション拠点等との連携を進め、区民の憩いの場、生活環境の充実を図り、水とどりのネットワークを形成します。
- 駅周辺地区については、「広域拠点」、「地域拠点」、「地区の核」としてそれぞれの地域特性を生かした整備を促進します。
- 地域の特性や立地条件を生かした「文化・レクリエーション拠点」、「行政文化拠点」、「流通拠点」を設定し、都市機能の整備・充実を図ります。

土地利用の方針

○既成市街地や開発が進行中の市街地など、類型によって分類し、都市基盤の整備や土地の高度利用を進め、快適な居住・生活環境の向上を図ります。

○商業・業務系、工業系、住居系等地域分類により、それぞれの立地環境の向上や機能を整備し、土地の高度利用、生活環境の改善を図ります。

この土地利用構想を実現するために、地域地区制度等の活用、開発や再開発事業の計画的導入・支援、関連事業・整備計画に基づいた区民参加によるまちづくりの推進、公営住宅の活用などを図るほか、道路・駐車場の整備や住宅供給と居住水準の向上等を促進します。

基本構想 実現に向けて

これからの行政運営にとって、改善を図りながら、政策形成への進め、あわ

区と区民、そして企業が連携・協力してまちづくりを進めるしくみ力が求められています。また、限られた資源と財源の中で、内容豊かなサービスを提供していくためには、行政運営に創意・工夫と柔軟な都市経営の視点が必要です。さらには、環境問題や交通問題、災害への対応など行政区域をこえた課題について、関係する自治体との連携がますます重要となってきます。

創造性豊かな都市経営を進める

○特別区を都の区域における基礎的な地方公共団体であるとして、行政区域をこえた課題について、関係する自治体との連携を深めながら、都の改革に関する答申の方向をふまえて、基礎的な自治体としての事務事業に積極的に取り組むと同時に、自主的・自立的な人事制度の確立を進めたい。

○政策相互の相乗効果を高めた取り組みと同時に、国や都との連携を積極的に進めたい。

区民参画のしくみについて

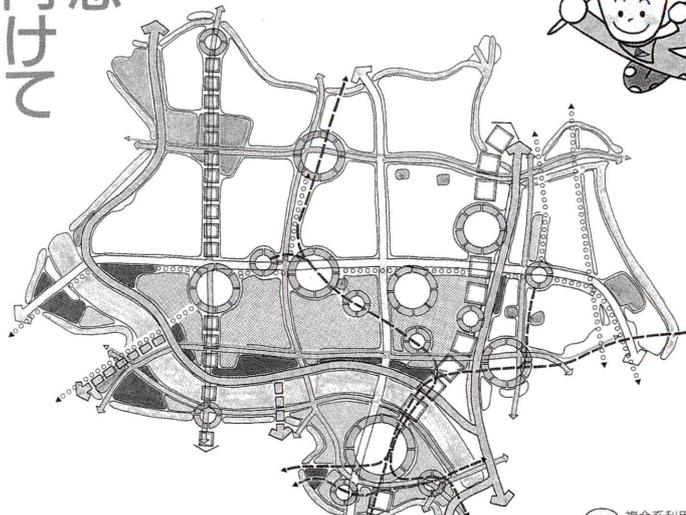
○区民の活発な地域づくりを進めるとともに、区民に開かれた区政を展開するために情報ネットワークを整備し、行き届いた情報を提供のうえ、区民と行政等相互のコミュニケーションを広げたい。

創造性豊かな都市経営を進める

○特別区を都の区域における基礎的な地方公共団体であるとして、行政区域をこえた課題について、関係する自治体との連携を深めながら、都の改革に関する答申の方向をふまえて、基礎的な自治体としての事務事業に積極的に取り組むと同時に、自主的・自立的な人事制度の確立を進めたい。

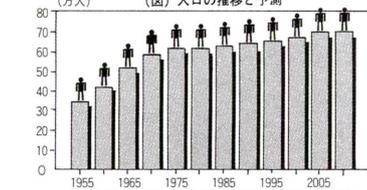
創造性豊かな都市経営を進める

○特別区を都の区域における基礎的な地方公共団体であるとして、行政区域をこえた課題について、関係する自治体との連携を深めながら、都の改革に関する答申の方向をふまえて、基礎的な自治体としての事務事業に積極的に取り組むと同時に、自主的・自立的な人事制度の確立を進めたい。



70万都市 『あだち』の創造

ときめき ゆとり 水辺のまち



基本構想の目標年次2010年の足立区にふさわしい人口規模を70万人と設定しました。平成2年の国勢調査によると、区の人口は63万1千人でした。今後、都営住宅の建て替えや鉄道新線の建設、農地の宅地化などによる人口の増加が予想されます。過去の人口推移、出生率等をもとに行った人口推計とこれらの要因を考慮し、将来の望ましい人口規模を70万人と設定したものです。なお、70万人達成後は、ゆとりをもつて住み続けられるまちづくりをめざし、この人口規模を維持するものとしま。

区民アンケート

アンケートをお寄せ下さい。区では、この基本構想審議会の「中間のまとめ」について、アンケートやご意見を募集しています。下記の質問事項について、右側の回答欄に記載していただき、お手数でも線にそって切り離し、お近くのポストに投入してください。アンケートの提出内容については、今後の審議会の最終答申や区の計画等に活用させていただきます。なお、アンケートは12月10日までにご投函願います。

- 各設問について該当する番号(2つまで)または具体的なご意見を右側の回答欄に記載して下さい。
- 問1 暮らしの中でどのような「ゆとり」が大切かと思えますか。
1. 生活時間
 2. 気持ち
 3. 経済面
 4. 住まい
 5. 街並み
 6. 自然環境
 7. 人づきあい
 8. その他()
- 問2 生活の中で「ときめき」をイメージするものは次のどの項目ですか。
1. 街のにぎわい
 2. 健康な生活
 3. 魅力ある景観
 4. 文化・スポーツ活動
 5. 活発な地域活動
 6. 元気な子供たち
 7. 出会い、発見
 8. その他()
- 問3 河川や水辺の活用としてどのようなものが考えられますか。
1. スポーツ、レクリエーションの場
 2. 動植物などの自然保護地域
 3. 人々が集まり、憩う広場
 4. 子供たちの水遊びの場
 5. 心がやすらぎ、うるおいを与える空間
 6. その他()
- 問4 今回掲載しました「中間のまとめ」の中で3つの展開があります。それぞれについて、特に重点的に取り組むべき事項についてご記入下さい。

その他、ご意見がありましたら、右の自由意見欄にご記入願います。なお、このアンケート結果は他の目的には使用いたしません。

問1 (その他))

問2 (その他))

問3 (その他))

問4

魅力ある暮らしのステージ(都市・まち)をつくる

元気あふれる生活を支えるしくみをつくる

個性豊かな区民文化を育む

自由意見欄

「地域フォーラム」のお知らせ

今回のあだち広報に掲載しました「基本構想審議会中間のまとめ」について、区民の皆さんのご意見を伺うため、次の日程により意見交換会を実施いたします。皆さん一緒に足立の未来をささげてください。多数のご参加をお待ちしております。

地域フォーラム日程表

日	時	場 所
11月21日(木)	午後7時～8時30分	佐野センター
11月22日(金)	午後7時～8時30分	東和センター
11月25日(月)	午後7時～8時30分	花畑公園桜花亭
11月28日(木)	午後7時～8時30分	文化会館別館
11月29日(金)	午後7時～8時30分	産業振興館
11月30日(土)	午後2時～3時30分	舎人センター
12月1日(日)	午後2時～3時30分	江北センター